

令和2年第1回恵那市教育委員会会議録

開催日時 令和2年1月23日(木) 午後1時30分～
開催場所 恵那市役所 西庁舎4A会議室
出席委員 教育長 大畑 雅幸
教育長職務代理者 鎌田 基子
委員 樋田 千史
委員 西尾 修欣
委員 村松 訓子

説明のため出席した教育委員会事務局職員等

副教育長	安藤 一博
事務局長	加藤 真治
教育総務課長	西尾 克子
学校教育課主幹	工藤 博也
教育研究所長	伊藤 政之
学校教育課課長補佐	小林 浩樹
教育総務課総務係長	古屋 恵子

議 題

協議事項

協議第1号 令和2年度版『恵那市の教育』（案）について

報告事項

報第1号 平成31年度教育委員会重点目標の進捗状況について

報第2号 恵那市の園小中学校のトピック（2月）について

報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況

報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数

報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数

報第6号 その他

開 会（午後1時30分）

1 会議録の承認

令和元年恵那市教育委員会第13回定例会会議録の承認がされました。

2 教育長の報告

教育長 資料にはありませんが、今回ご協議いただき、ご承認を得たいことがあります。令和2年度の始業式についてです。恵那市の学校管理規則では、4月6日が始業式で翌日が入学式となっています。令和2年度は6日が月曜日になります。

校長会から、6日に始業式を行うとすると、4日または5日の土日に職員に出勤を命じないと準備ができないため、6日を臨時休業とし7日に始業式、8日を入学式にしてほしいとの申し入れがありました。

恵那市では、4月1日に教職員受入式があります。学校としては職員会を行いたいが、半日潰れてしまうことも理由の一つです。6日を意図的に臨時休業とし、7日を小中一斉に始業式、そして8日の午前中を中学校の入学式、午後を小学校の入学式にする。こども園、保育園、幼稚園、それから高校への支障はないか下調べをしたところ、高校の入学式は8日の午後でしたので、兄弟関係で親が出席できないということがないように高校に依頼し、時間を調整しました。教育委員さんにこの場でご承認をいただければ、早速、進めていこうと考えています。

併せて提案させていただくのは、今後も同じことが起きますので、令和2年度前半ぐらいをかけて、4月7日を始業式にするかどうか。今回のように臨時休業にするのではなく、学校管理規則を改定することについて検討し、結論を出していきたいと思います。

恵那市は以前、警報発令時の子どもたちの出校については、朝、警報が発令されていると自宅で待機し、午前9時半までに解除されれば、その後速やかに登校することになっていました。平成24年の大雨の際の多治見での事故をきっかけに、バス通学の児童生徒もいることから、決定時刻を早めて6時半の時点で警報が発令されていると、その日は臨時休業にすると決めました。それに附随して、警報発令が頻繁にあり、早目早目に警報が出ていた時期でしたので、授業日数が不足しないように、8月31日までの夏休みを8月25日までとし、26日を始まりとして、6日間夏休みを短縮する学校管理規則の改正を行いました。今回、始業式を4月7日にすることで、春休みが1日延びますので、この1日分をどうするかも含めて、今後協議をしていきたいと思います。

取りあえず、令和2年度は4月6日を臨時休業にさせていただきたいのですが、いかがでしょうか。ご意見がありましたらお願いします。

委員 来年度に関しては、取りあえず1日減でスタートするということですか。今から夏休みなどは決められないため、時間をかけて協議していくということですか。

教育長 はい。ちなみに中津川市、瑞浪市にも聞いたところ、既に管理規則で4月7日が始業式となっているそうです。

委員 変更したのは6日が月曜日になるため、土日に出てこなくてはいけないという理由ですか。過去には同じことがあったと思いますが。

教育長 はい。ありました。

副教育長 平成29年度、今回と同じように臨時休業を1日設けたことがあります。

委員 昔から月曜日が始業式だったことがあったと思います。準備ができないときには土日も出てきて準備をしていました。今回臨時休業ということは、教職員も休みということですか。

教育長 いえ。警報やインフルエンザで臨時休校になるのと同じで、教職員は出勤し、

始業式や入学式の準備をします。

委員 準備は前の日の1日でできますか。

教育長 前の週の後半で行います。1日は職員会を行い、2日の半日ないし、その後の2日間で入学式の準備を行います。1日ないし2日には担任も確定します。

副教育長 1日の午前中に初任者研修を行います。初任者がいない学校は午前中に担任の発表ができるのですが、恵那市の場合、ほとんどの学校に初任者がいますので、初任者がいない状態で担任発表というわけにもいきません。

委員 今後、月曜日が始業式になることはあると思いますが、どう対応するのですか。

副教育長 始業式が7日の月曜日となっても、前の週に準備を行い、始業式の日はずらしません。始業式を迎えるまでの間に、来年度については、1日を除くと2日間しかありません。準備期間として3日間は欲しいということです。

委員 管理規則の文言はどうなりますか。教育委員会だけで決定できることですか。

教育長 現在、管理規則では、学年末及び学年始として4月5日までとなっているところを6日までとします。管理規則は教育委員会規則ですので、教育委員会の承認を得られれば改正できます。いかがでしょうか。

委員 いいと思います。

委員 事務局がよければいいと思います。

教育長 ありがとうございます。

委員 このことについては、いつから口外していいですか。始業式や入学式のことを聞かれたとき、答えてもよろしいですか。

教育長 はい、本日から大丈夫です。来年度は4月7日が始業式、8日の午前が中学校、午後が小学校の入学式になりますので、よろしく願いいたします。

委員 今後7日が日曜日なら、8日が始業式、9日が入学式でいいですか。

教育長 はい。7日が休みに当たれば、始業式が次の月曜日になります。

委員 はい。分かりました。

教育長 2つ目の話をさせていただきます。

今、学校・市教委懇の真最中で、約半分の学校が終了しました。教育委員さん方には、忙しい中、ご出席をいただきありがとうございました。

今年を振り返って思ったことは、校長先生が上手にマネジメントしていて、その学校ごとの地域の特色や得意な部分を生かして、多くの学校が文部科学大臣賞を始め、幾つかの表彰を受けて褒めていただけたということです。表彰まではいかなかったとしても、多くの学校が成果を上げたということが印象深くあります。

ほとんどの学校の校長や教頭が、うちの学校は職員が若いのでという言葉から始めて学校の状況を説明しました。恵那市は、勤務の本拠地が市外の新任校長、教頭が多く、恐らく自分の地盤の状況と、恵那市の若い教員ばかりいる状況との違いを日々感じながら、学校経営をいっていると思いますが、これが恵那市の現状です。たとえ新任の先生であっても戦力になるよう指導をしてほしいと話をしているところです。

3つ目の話です。前回の教育委員会で、コミュニティスクールについて資料を

もって説明をさせていただきました。特に地域学校協働本部という組織をつくることによって、より手厚い体制で地域の子どもたちを育てていきたいと思いますということで、1月8日に振興事務所長さんたちに正式に担当から説明をし、15日には13地域の地域自治区会長会で説明しました。

令和2年度から新たに地域学校協働本部という名称の組織を立ち上げるのではなく、地域自治区制度を既に条例化しているので、地域自治区区の一つの事業として地域学校協働本部の役割を担っていただくということで依頼をし、反対意見もなく聞いていただくことができましたので、いよいよ体制を構築していきたいと思っています。

それから、今、人事異動関係事務の真最中で、本年度末の人事異動の件で教育事務所との折衝をしています。恐らく最終的には一般教員が随分足りない状況が起こるため何とかしなくてはいけないと思っていますが、現在は、管理職の人事異動について折衝をしています。

本当ならば校長、教頭が同時に異動になったり退職したりするのは避けたいのですが、恵那市の台所事情でいうと、両方とも異動という学校が出てきてしまいます。精いっぱいその学校に過去勤めたことがある教員を配置するなど、やれるだけの配慮はしたいと思っています。

また、一般教員に対する地域の声など、個人的な意見も含めて、何か聞こえてきたらぜひ教えていただければと思います。よろしくお願いします。

3 教育委員の報告

委員 先日の成人式は、実行委員一人一人がこの式をつくり上げるために、少しでもいい式にしようという気持ちが、本年度はすごく伝わってきました。

実行委員を任命されてからは、10月ぐらいから何度か集まったり、ムービーを作製するのに恩師の先生を訪ねたり、下準備が本当に大変だったと思います。案内はがきが届いて参加している人と比べると思い入れも違うと思いますし、いい式にしたいという思いが伝わって、すっきりした温かい式典でした。

特に地元の委員はよく知っている人で、小学校のときのイメージしかありませんが、目立つようなタイプの人ではなかったのが、立派になってみんなの中心になって委員をしている姿を見て、すごく感激して、いい式典だったと思いました。

市教委懇は恵那北中学校に出席しました。職員との連携がうまくいっていることがよく分かりました。職員同士がうまくいっていると、生徒にも反映して、3年生の合唱などすべてにおいていい効果が表れていると感じました。

エース級の3年生が卒業した後のことを心配されていましたが、この雰囲気もうまく引き継いで持続して行ってほしいと感じました。

最後に要望ですが、受験がいよいよ近づいてきて、15の春を誰もが本当に笑顔で迎えられるように、各中学校の進路対策をしっかりしていただきたいと切に願っています。

委員 成人式ですが、今年の対象者は608名でした。来賓の方との雑談で、非常に

おとなしい、突拍子もない成人はいなかった、話を聞くときはちゃんと聞いていたという話をされました。その言葉だけを聞くといい印象ですが、その来賓の方が別の席でも、「おとなしくてね、突拍子もない成人はいなかったよ」と話をされていました。よほどそのことが気になったようで、つまり枠から外れると、仕事がなくなってしまうなどの危機感がもしかしたらあるのか。だからある意味、もう少しいろんな意味の元気があってもいいのではないかとその方が言ってみえました。最低限、人の話を聞くことは当然のことですが、以前のように一升瓶を持ってうろうろしているような子たちがいても非常に不愉快でもありますので、概していい成人式だったと思います。

出生数を見ましたが、今年はまだ200人生まれていないようです。上矢作は0、飯地が1、串原が2だったと思います。1学年が本当に少なくなっています。20年後の成人式を思うと寂しくなることも、懸念をするわけではありませんが、心配なことだと思います。

教育長 今年、成人者が608名です。当時はまだ市町村合併前でしたが、地元の中学校を卒業した人が540名、残りの68名は外国人も含め、中学卒業後、恵那市に異動してきた人になります。今の話のように20年後は半分以下という状況が予想できます。

委員 中間まとめの会と学校・市教委懇に出席して、教育長が教頭先生に厳しく指導されました。それを聞いていて、これは教頭の考え方というか、何かその弱い部分、ほかの学校を見ている、教頭の動きが本当に弱いように見え、心配です。

例えば、教育長にお金の使い道について質問された場合、真っ先に教頭が答える必要があると思いますが、それができていない。先ほどの人事ではありませんが、教頭が異動してまだ1年目なので分かりませんでは、学校はスタートできません。4月から学校から地域に自ら出て足を使って動く。そして教頭であっても判断はでき、校長に決断を仰ぐ、そういう姿勢がものすごく大事だと思います。

何か課題があったときに、どうしようかと伺いを立てるのは教頭としては極めて未熟な行為であって、私はこう思いますが、どう思われますかなど、自分の考えを述べて決断を仰ぐ。校長は決断しなくてはいけないときがあるのですが、その辺のことを教頭があまり分かっていないというか、動きが鈍いというのを感じました。

教育長も教頭会で厳しく指導されていると思いますが、校長も教頭を指導しなくてはいけないと痛感しました。やがては地元へ帰っていくので、恵那でよく鍛えられたと帰っていけば、恵那の指導が良かったとなると思いますし、恵那で一生懸命できなかったら、地元に戻っても一生懸命できないと思います。来年度に新しい教頭あるいは校長を迎えたときに、自分の足を使って自分で物を見て考えて判断して、そして行動に移していく。それで自分が分からない場合は校長に決断を仰ぐ。そんな動きを教頭にはしていただきたいと、つくづく感じました。ある部分は褒めながら、ある部分は厳しく指導する、めりはりを付

けて指導していただかなければいけないと思いました。

今後も校長会や教頭会で副教育長も言われると思いますが、言うべきことは言ってもらえると、恵那市の教育の動きが良くなるのではないかと感じました。

教育長 ありがとうございます。なかなか指導する場面も少ないのが現状です。いよいよ何か起こしてしまったときには教育長室へ呼びますが、そのときはよほどのことです。学校・市教委懇は、3年前から教務主任は出席せず、管理職だけで来るように指示しています。くだんの学校では、1年を通してみて教頭の動きが気になっていましたので、一生懸命言葉を選びながら指導したつもりです。これが、一生懸命やっても能力的に厳しい場合と、少し怠けている場合と、その辺の見極めというのは大変難しいです。特に恵那市は、校長も教頭も新任で外から初めて来るという方が多い中で、4月の一番初めに話すことは、やがてこの学校を終えて2校目では地元に戻り力を発揮する。今は穏便に何事もなければそれでいいということではいけない。今赴任した学校が自分の管理職として全てかもしれない。ここは自分の地元だと思って一生懸命やっていただきたい。失敗したときには、精いっぱい努力した後、私も一緒になって責任をとる、叱られるので頼みますと毎年話をします。地元に戻ってからつらくなる場合、つまり、地元に戻っても頑張れる機会がなかったという場合もありますので、今いる学校で一生懸命働いていただきたいと思います。

委員 教頭先生にICTを一生懸命行っている先生は誰かと質問しましたが、それも答えられませんでした。教頭が職員の授業を見ていない。1年生の指導に間違いがあっても、指導案の点検もしていないため、教育委員会が訪問をしても間違っただけの授業を公開していました。

教育長 本来、教頭がやるべき事務的な仕事を、校長と教務の2人で分けてやっています。

委員 資料の最後に各学級の一覧表が載っていましたが、それを載せる必要はないと思います。そこにかかる労力があるのなら、ほかに使うべきだと思います。必要などころは指導していかねばならないと思いました。

委員 中間まとめの会に参加しました。先ほどの委員さんは厳しく叱られたとおっしゃられましたが、私は、ものすごく言葉を選んでおっしゃっているなという印象でした。

私は、指導される側の視点からお話したいと思います。指導された先生が今年からということで、誰に向かって指導しているかが分かりにくく、その指導を授業とするなら、児童が置いていきぼりになっていると感じました。ペンを走らせている先生ももちろんいましたが、何か響いていないというか、言わなくてはいけないことをとにかく一生懸命、言葉を出しているという印象でした。これから場数を踏んで、経験を積まれて成長されると思いますが、やはり教育長訪問は指導を行う場なので、上手に指導していただけたと思えるものを期待したいと思います。

教育長 デビュー戦でしたので、先生自身も大分緊張して一生懸命話していたのですが、途中で分からなくなってきました。今後指導していきますので、

よろしく申し上げます。

委員 それと、一つ思ったことは、全体会の前に市教委懇がありました。その場で教育長が、今後は学習形態と手段というキーワードを言われました。私は、なるほど、分かりやすい言葉でまとめられているとお聞きしました。指導される先生は、別に教育長の考えを言われなくてもよく、ご自身が気付かれたことを言う立場だと思いますが、やはり教育長が言われたことに対して、なるほどともし思われたのであれば、そのキーワードを入れてほしかったです。そういう細かいことが、大事だと思います。トップの考えを初めに聞き、全体会では指導の先生がその考えを受けて指導をする。そういうことも期待しています。

教育長 研究発表は学校の研究主題に沿って行うものです。授業は結果論ですので、思い通りにいくときもあれば、全然外れてしまうことも、尻切れとんぼになることもあります。こういうことがやりたかった、こういう出口を目指していたということで話をしていかないと、主題も何もありません。私は学校の研究主題に絡めて、楽しくと、主体的に学び合うというキーワードを2つ話しました。実際に授業は教員主導で、子どもたちの学び合いについては、1年生あたりは多少楽しかったかもしれませんが、上の学年は、どうしてもそこまで気づかなかった部分もありました。本当はこういうことをしたかったのですねという思いを持ちながら、ここで例えばこういう手を打たなかったからとか、ここにどうこうしなかったからという、逆の言い方をすると、ここでこういうふうに行えば、主題に迫るような授業になったと思いますという路線で指導主事は話さなければいけないと思います。そういうことをおいおい教えていきますので、よろしく申し上げます。

ほかに言い残したことはございませんか。

委員 この席で時々お話ししていますが、学校のホームページで盛んに更新されている学校もあれば、できていない学校もあります。たまたま見ていたら、インフルエンザで今学級閉鎖になっていますとアップしている学校がありました。こういった情報提供というのは、その学校の保護者だけではなく、市民、学校には関係のない方でも見ることができ、インフルエンザが今流行っているということが分かります。インフルエンザに限らず、もしかしたらマイナスな面もあるかもしれませんが、どんどん情報をアップしてもらえるとよいと改めて感じました。

教育長 インフルエンザは、年末に中学校1校が学校閉鎖をしたのを始め、3校で流行しました。現在は2校の学級閉鎖と1校の学校閉鎖があります。あまり寒くないので、このぐらいで収まるかもしれませんが、また寒くなると増えてくると思います。ホームページについては、学校間格差があるのが実情です。

6 協議事項

教育長 協議事項第1号 令和2年度版『恵那市の教育』（案）について、説明をお願いします。

学校教育課主幹 協議事項第1号 令和2年度版『恵那市の教育』（案）について、資

料に基づき説明。

教育長 少し時間をとりますので、気が付いたところをご指摘いただきたいと思います。次回2月の定例会でもう一度時間をとりますので、それまでに今年と見比べていただき、2月におよその方向を出し、3月に準備ができると思っています。先ほどの説明で、ご質問などありませんか。

委 員 4ページの教科指導のところ、「仲間との協働を通し、確かな学力を育成する」という中で、「全国学力・学習状況調査等の結果分析を活用し」とありますが、教科で力を付けるのは、全国学力テストや学習状況調査ではないと思います。全国の平均点を恵那市として上げていきたい気持ちはよく分かりますが、学力テストで点数を上げていくような教科指導をしていくことが授業だろうかと思います。それはまた別の問題である気がします。ここでうたったということは、学力テストではなくても成績を上げたいという願いが出てくると思いますが、何かこれが教科指導と言えるのかと思いました。算数、国語、理科、社会などいろいろな教科があるので、楽しんで学び合うや、集中力を育てるなど、課題解決ができるような子どもにしていきたいということになってきませんか。悪くはありませんが、ここを一辺倒に出してしまうことは、何か教育として違う気がしますので、一考したいです。

もう一つ、ICT教育が情報教育に入っていますが、ICTは教科の力を付けてくれると思います。情報教育は、プログラミング学習が始まり、普段の授業では、市としてはICTを使っているいろいろなことを行っていく中で、1人1台のタブレットを入れる時代になっていますので、恵那市の強みとして具体的な取り組みを入れると、他市とは違った方針が出るのではと思いました。

もう一つ気になったことは、情報教育の「情報活用能力を身に付ける」となっていますが、「付ける」や「付けさせる」の言い回しはいいでしょうか。

教育研究所長 これは「育成する」に直します。

委 員 人権教育はどうなりますか。

教育研究所長 本当は何々させるという言い方はしたくなかったため、育成するにしたかったのですが、人権感覚を育成するという言い方をするか考え、身に付けさせるにしました。

委 員 教員を主語にすると、させるになってしまいますね。

委 員 これも考えましょう。

委 員 幼児教育の方針と重点のページで、改行の位置や行間、上下のバランスがそろっていないので、統一したほうが見やすいので直したほうがいいです。

副教育長 ありがとうございます。

委 員 小学校外国語活動の、新しいタイトルの語尾の句読点は必要ないと思います。道徳教育で、道徳性を養うとありますが、道徳性とは何ですか。

副教育長 国では道徳性という言い方をしています。

委 員 道徳心を養うではないのですか。

副教育長 態度や感情など含めて、道徳的行為の一番基礎となる部分を道徳性と呼ぶようになってきました。

- 教育長 以前は、道徳的態度や道徳的判断力など、全部をまとめた言葉で道徳性というように国が使い始めました。
- 委員 一般的に聞くと、分からないと思いますね。
- 委員 なじみがないと思います。
- 委員 幼児教育の読み聞かせのところで、令和2年度は、読書活動が抜けていますが、あえて取ったのでしょうか。2019年には、読書活動（読み聞かせ）になっていますが。
- 委員 左側の表紙を見ると、読書活動がメインで（読み聞かせ）とあります。これは何か理由があつてのことでしょうか。
- 委員 これは前回と同じで、読書活動（読み聞かせ）でいいのではないですか。
- 委員 私も入れておいてもいいと思います。読み聞かせ限定になってしまっている気がします。司書によるブックトークは、幼児向けの本も紹介しているので、表紙に読書活動とあるので、読書活動（読み聞かせ）のほうがいいと思いますが、またご検討お願いします。
- 委員 「運動あそび」が新しく入りましたが、「運動あそび」という言葉があるのでしょうか。英語あそびや数字あそびなどは分かりますが。運動あそびとはどういうことですか。
- 副教育長 運動が中心となる遊びというイメージになると思います。体を動かすことが中心となった遊びということです。
- 委員 積み木遊びではなく、体を動かす遊びということですか。
- 副教育長 はい。そういうことです。幼児教育では、主流になりつつある言葉ではないかと思っています。
- 委員 飛んだり跳ねたり、かけっこをしながら鍛えることですか。
- 副教育長 一つの遊びをする中で、その子の運動能力を高めていくことです。
- 委員 遊びの中に運動的な要素を入れていくということですか。
- 副教育長 例えば、紙を丸めたボールを床に広げておき、チームで決められた場所にできるだけ早く集めるなど、見ること、そこへ体を向けていくこと、拾っていくこと、そういう遊びをしながら鍛えるというか、能力を高めていこうというものです。
- 学校教育課主幹 大学と連携していますので、ただ幼児期に運動していればいいということではなく、ゴールデンエイジに行くと一番いいということがあります。動きをつくるこの時にやらなければいけない。そういうことを研究者と一緒に、こういう遊びをさせたら将来的な動きづくりにもつながってくるということを目的としています。
- 副教育長 小学校に入ったら背筋が伸びて椅子に座れるなどの効果も狙っています。
- 委員 この「恵那市の教育」は、令和2年度版「恵那市の教育」を今精査しているということですか。これを毎年繰り返して作成するのですか。
- 教育長 そうです。
- 委員 はい。分かりました。
- 副教育長 成果と課題を基にしながら、時代の趨勢も含めて毎年、次年度の恵那市の教育

について決めていくものになります。

教育長 以前は、県教委が一字一句こだわって、細かいところまで示し、それをお手本にしながら市のものを吟味していたのですが、県が示さなくなりました。恵那市は新規採用や若年者が多いので、指針になるものが必要ということで、毎年作成しています。学校では職員会で話題にしながら教育にあたっています。

委員 基本的にこの表紙は変わらないですか。この表紙については、定例会で何年か前に議論したことがあります。恵那市の教育は志がベースにあって、その上にある。上下のバランスなども話をしましたので、有意義に使ってもらえればと思います。

教育長 はい。ありがとうございます。今回議論していただいたことを踏まえて、次回も時間をとりますので、また協議いただけるようお願いいたします。

7 報告事項

教育長 報告事項第1号 平成31年度教育委員会重点目標の進捗状況について、説明をお願いします。

事務局長、副教育長 報告事項第1号 平成31年度教育委員会重点目標の進捗状況について、資料に基づき説明。

教育長 ご意見ご質問はありませんか。

委員 10番の集団不適應児童というのは、目標が減少になっていますが、実際に減っていますか。

副教育長 どこから減っているかというところが難しいですが、例年と比べると、少し増えている感はあります。ただ、その年度内でも、時期として秋ごろが少し多目になっていき、その後またおさまってくる形になります。いろいろ対応が異なるため、ひとくくりにはできない問題があります。

委員 目標に掲げていますが、その数字としては特にこだわっていないということですか。

副教育長 そうです。減少させるために、いろいろな取り組みをしていくということです。例えば、いわゆる不登校ではなく、学校へは来ているけれど、別室に登校している子もいますので、完全不登校と比べれば、減少しているのとらえることができます。前進はしているとは思いますが、数として減ったのかというと、そうでもないところがあり、どう整理をするのか難しいところです。

委員 今は、学校に来ましようという方向だと思ってもいいですか。いつか、肯定するわけではないのですが、登校しないのも一つの人生みたいなきががありました。

副教育長 そういう方向性もありますが、やはり学校に行きましようということもあります。職員の中でもさまざまですし、ただ学校の方向は、校長が市教委の方向性を受けて決めることになります。

委員 その集団不適應の定義は、必ずしも学校に来ない子のことを言うわけではないということですか。

副教育長 例えば、何か学校であり休み始めたということがあっても、詳しく調べていく

と家庭の中に問題があることが分かるなど、いろいろありますが、それを一絡げにして不登校としています。いじめのような構図がある場合もあるでしょうし、その子が周りに本当になじめないというようなこともあると思います。

委員 集団不適應児童という言葉の定義がないということですか。

副教育長 不登校と書いてしまうと登校しない子だけのことになってしまうので、学校に来ているけれども、通常の授業に入れられない子も含めての集団不適應児童生徒という書き表し方になっています。

委員 恵那市は特に家庭に問題がある子が多いですね。学校として手を打つことが限られてしまうということが結構多い。

委員 さまざま学校が手を出さないと次の手に出るわけですか。学校が手を出さないから、じゃあここまでというわけではなくて、次の手を打つ。

副教育長 はい。例えば学校が手を入れようとしても、保護者が拒否をする場合や、本人が受け入れない場合には、受け入れられるような機関等につないでいきます。そういう中で方向がこちらに向くなら、例えば「はなのき」や「むつみ」教室を紹介したり、心の教室相談員が家庭訪問をしたりすることもあります。スクールカウンセラーもみえますので、その辺につなげることになります。

委員 スクールカウンセラーが病院を紹介してくださるので、個人的にかかる子や、全く拒否される保護者もみえ、本当にいろいろなケースがあると思います。

委員 その子の追跡はできる。追跡という言い方は悪いですけど。

副教育長 絶対にかかわりを切らないようにしてくださいと学校に話しています。

委員 はい。わかりました。次に23番ですが、「求めて学ぶ」ための市民講座の内容の充実と「学んで生かす」方法の検討と、すごく難しいことがさらっと書いてありますが、この学んで生かす方法の検討は、生涯学習課でやっていることと思えばいいですか。外部の方のお知恵をかりるなどではなく、生涯学習課でその方法を検討しているということですか。

事務局長 はい。施策として行っています。最初にこの三学は、「書に学ぶ」があり、「求めて学ぶ」、「学んで生かす」があります。「書に学ぶ」は図書館で役割を担っており、「求めて学ぶ」を生涯学習課で市民講座や講演などを行い、「学んで生かす」はそこで学んだ方たちがその成果をまちづくりやボランティアなど地域や社会に還元することにつなげるというものです。学んだことを地域で広げていただくことで、この「学んで生かす」というところがありますが、ここが一番難しいところになります。講座や講演を開催すれば、それなりに人は来てくださいますが、その人たちに自分の活動としてつなげていくことが重要であり、難しいところでもあります。その点についてどのように行っていけばよいかを検討しています。今までには、生涯学習手帳を作成し、資格認定のようなこともやってみましたが、いざというときにリーダーになっていくという方は少ないというのが現実です。

教育長 報告事項第2号 恵那市の園小中学校のトピック（2月）について、説明をお願いします。

副教育長 報告事項第2号 恵那市の園小中学校のトピック（2月）について、資料に基

づき説明。

教育長 ご質問等がありましたら。

委員 14日に大井小の6年が薬物乱用防止教室となっていますが、これは初めてですか。

副教育長 本年度については、大井小学校が初めてです。ただ今までもライオンズクラブの方や、警察、保護司、薬剤師などが講師で行っています。

委員 学校の懇談会のときに、朝ユーチューブを見て登校する子がおり、それが生活の一部という子がかかなり増えているのではないかという衝撃的な話がありました。そういうことをちゃんとつかんでみえるということも幸いですが、その生徒一人一人の実態までは恐らくつかめていない気がします。どの程度まで子どもたちの生活の中に、スマホなどネット環境が入り込んでいるのかというところで、薬物はだめということはすぐ直結できると思いますが、実際現実にとどのような害が自分自身にもたらされるかという、データが公に出ていないわけです。情報教育と先ほどからありましたが、このあたりを先手先手で行っていく必要があると思います。

副教育長 学校で対応する必要性を感じている人もいれば、そこまで学校で行う必要があるのかという話もあります。保護者の中には、うちは使わせていないけど、学ばせたほうがいいのかという話もあれば、使ってはいけないのかという意見もあります。スマホを見せていけば、子どもはおとなしくしているという保護者もいます。もっと言うと、子どもより保護者が中毒になっていることも多くあります。このネットの問題が起き始めたところで、たばこやお酒などと同様に年齢制限を設けてもらえるといいと思っていましたが、そうはなりませんでした。

委員 どんどん低年齢化しているということですね。

副教育長 はい。私たちが考えるよりも、もっとどっぷりはまっている可能性は高いかと思います。学校でも危険性を訴えていくしかないです。

委員 今言われたみたいに、先生の中にもそんなことを学校で教える必要があるのかという方もみえるということですか。

副教育長 若い教員の中には、すでに自分がそういう環境にあったため、そのような必要があるのかという感覚はあるのではないかと思います。

委員 はい。

教育長 報告事項第3号から第5号、市内施設の利用状況について、説明をお願いします。

事務局長 報告事項第3号から第5号、市内施設の利用状況について、資料に基づき説明。

教育長 ご質問はありませんか。

委員 なし。

教育長 2月の行事予定について、説明をお願いします。

事務局長、副教育長 2月の行事予定について、資料に基づき説明。

教育長 行事について、何かご質問はありませんか。

委員 臨時会はないのですか。

教育長 3月4日に開催したいと思いますが、よろしいでしょうか。また時間も決めていただけたらと思います。内容は、教育事務所と協議し作成した各学校への教員の配置の表を皆さんに見ていただき、最終的に承認をいただくという議題になります。時間的には1時間ほどで終わる予定ですので、4時からでもよろしいでしょうか。

委員 3月4日はもう決定ですか。

教育長 はい。事務所への報告が決まっていますので、逆算すると4日にお願いしたいです。臨時会は3月4日午後4時からでよろしいでしょうか。

委員 はい。

教育長 場所については、後日案内を送らせていただきますので、よろしく願いいたします。最後のページに後援申請一覧がありますので、ご確認をお願いします。最後に、学校教育課の担当から恵那市の学校教育におけるICT教育の方向について説明させていただきます。またご意見等があれば後ほど伺いたいと思います。

学校教育課長補佐 資料に基づき説明。

委員 最初の資料、ICT活用のところで1ページ目と2ページ目、1ページ目を補足しているのが2ページ目ですが、アクティブラーニングでのICT活用というのを、協働学習の「ドウ」は同じの「同」ではなく、働くの「働」ではありませんか。それから1ページ目が、アダプティブのほうはブルーで、2ページ目は、色が変わっています。これは統一したほうがいいと思います。

学校教育課長補佐 はい。ありがとうございます。

教育長 GIGAスクールについては、テレビのニュースでも報道されていますが、なかなかついていけない部分もあります。学校の指導は、主に教科指導になりますので、ここへICTの機器を当たり前のように入れていくというのは、急には厳しい状況です。この1人1台のパソコンないタブレットの整備については、国の補助は今しか交付されないため、この機会に整備を行わないと、すべて市独自で購入することになります。ただし、この補助金を使って整備すると、どのように活用したかなど実績報告も必要となってきます。急テンポの中で整備していく必要がありますが、学校教育課が一生懸命計画を立て、市長も力を入れて、理解もありますので、何とかそれに応えられるように進めていきたいと思っています。

令和2年度の定例会では、機会あるごとに報告事項として上げていきます。学校の中で実践されていくことも見ていただくことも出てくると思いますので、よろしくお願いします。

委員 現在も校内LANの整備はされていると思いますが、それ以上に整備が必要になりますか。

学校教育課長補佐 はい。今、恵那市で整備しているものは、通信容量が100メガです。文部科学省が2022年度までに校内LAN整備を求めている基準は満たしていますが、今回のGIGAスクール構想では、一人一台の端末配布も示され、端末数が一気に増加するなかで、それに対応する1ギガ対応のLAN整備

の必要性が生じており、国もそのLAN整備をすることが必須と示しています。現在、整備してある配線など使用できるものは使用し、極力、費用の削減に努めながら対応していきたいと考えています。

国の補助は、1校当たり、3,000万円を上限に、1/2の補助となっています。1/2が国の補助で、残りの1/2を市が負担することになり、かなり大きな事業費が必要になると考えています。

副教育長 現在も、30数台の端末を子どもたちが使っている中で、参観者がスマホを持っていくと、少し動きが鈍くなるような状況もあります。

委員 草津に視察に行ったときも、その話が出ましたね。

副教育長 はい。さらに、全ての教室で使用する対応になっていないため、ネットワークの構築は絶対に行わなければならないと思います。現在の、校内LAN整備でさえ、恵那市全体で6,000万の事業費がかかりました。

学校教育課長補佐 そうです。

委員 このICT教育は、先生方が中心になって行われると思いますが、草津市のように、先生方をどのように支援するかなどの考えはありますか。

学校教育課長補佐 支援する必要性はあると考えています。

教育長 現在、来年に向けて、ICT教育のコーディネーターの役割をする人材が必要と考えています。学校での指導の様子を心得えながらICTにも長けている退職教員の中で人選し、教育委員会に常駐しながらマネジメントをする。そして、時折、学校に出てもらい現場の教員を鍛えながら、リーダーシップを発揮してもらおうと考えています。

委員 教育委員会に配置するということですか。

教育長 はい。25年ほど前は、システムエンジニアに説明や操作をしてもらうなど、大変苦労しました。

GIGAスクール構想については、今後も随時、説明させていただきますので、お願いいたします。そのほかご意見などありませんか

委員 はい。

教育長 次回教育委員会の日程確認。

第1回教育委員会定例会を閉会します。

午後3時48分閉会を宣言します。

令和2年1月23日

教育委員 樋田 千史

教育委員 西尾 修欣